



# 横浜市立美しが丘西小学校 開校のしおり



平成25年4月1日開校







校章（演台）



アリーナ（体育館）



光庭



プール



図書スペース



多目的スペース



視聴覚教室



特別支援教室

# I 学校概要

1 学校名 横浜市立美しが丘西小学校

2 住 所 青葉区美しが丘西二丁目48番地1

電話 045 (902) 0450・0451 FAX 045 (902) 0452

3 交 通 【たまプラーザ駅】

◇美しが丘西行き 薬師台公園バス停より徒歩1分

◇虹ヶ丘営業所行き 保木バス停より徒歩6分

【あざみ野駅】

◇田園調布学園大学行き 桜アベニューバス停より徒歩5分

4 学校施設

(1) 校地面積 17,686㎡

(2) 建 物 3階建て（鉄筋コンクリート造）

(3) 校 舎

【内訳】普通教室24 個別支援教室2 特別支援教室1 多目的教室1  
特別教室（理科室、第一・第二音楽室、図工室、家庭科室、図書室、  
コンピュータ室、視聴覚室、教育相談室、カウンセリング室、特別活  
動室）  
職員室、校長室、事務室、保健室、会議室、給食室、体育館（アリー  
ナ）、プール、地域交流室、放課後キッズ施設など  
車椅子対応エレベーター1基

5 児童数・学級数（予定） 約800名 一般学級24 個別支援学級2

6 教職員数

校長	副校長	教諭	養護教諭	事務職員	栄養職員	技能職員	校医・薬剤師	計
1	1	28	1	1	1	2	4	39

7 通学区域 【元石川町】

7138～7244番地、7247～7267番地、7269番地、7272～7308番地、  
7310番地、7315～7441番地、7512～7513番地

【美しが丘西】

一丁目、二丁目、三丁目1～11番地、43番地、45～54番地、57～59番地、  
61～65番地

## II 美しが丘西小学校の教育方針

豊かな『感性』と確かな『学び』（子どもの『感性』を育む教育を軸とした学校経営）  
『感性』を高め、『学び』を支えるために

- ・語彙力、情報活用能力を育成するための学校図書館の整備と読書活動の推進
- ・人と人とのつながりの重視、言語に関する能力とコミュニケーション能力を育てるための学習活動の工夫

## III 美しが丘西小学校 開校までのあゆみ

- 1989年（平成元年）11月 5日 元石川町の一部より美しが丘西一丁目～三丁目を新設。  
横浜市緑区美しが丘西一丁目～三丁目となる。
- 1990年（平成 2年） 3月 保木土地区画整理事業竣工、学校用地 3 箇所（中学校及び小学校2箇所）を確保
- 1994年（平成 6年）11月 6日 港北区と緑区を再編し、青葉区と都筑区を新設。横浜市青葉区美しが丘西一丁目～三丁目となる。
- 2003年（平成15年） 9月13日 美しが丘西地区の人口増加に伴い、元石川小学校の児童数が増加し、多数の児童がバスで通学していた状況を改善するため、小学校建設促進委員会（委員長：関戸輝夫氏）を発足
- 2003年（平成15年）11月20日 促進委員会が横浜市に「美しが丘西地区公立小学校建設についての陳情書」を提出
- 2003年（平成15年）12月19日 横浜市からの回答（今後、学校規模の適正化や通学区域の見直しを推進していきます。）
- 2003年（平成15年）12月 「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」が策定される。
- 2005年（平成17年） 2月 9日 促進委員会が横浜市に第 2 回目の陳情書を提出（小学校建設資金確保の選択肢の 1 つとして、学校用地の一部を売却して建築費に充当等、柔軟な対応による予算確保を図る事により小学校の建設を早期に進めて頂きたい。）
- 2005年（平成17年） 4月 2日 横浜市からの回答（新設校の設置を視野に入れて検討を進めていきます。）
- 2006年（平成18年）6月～8月 署名運動の実施（署名4,055名）
- 2006年（平成18年） 8月28日 促進委員会が横浜市に第 3 回目の陳情書を提出
- 2007年（平成19年） 1月18日 促進委員会のメンバーが横浜市会を訪問し、小学校建設についての陳情書を提出する。
- 2007年（平成19年） 4月11日 横浜市からの回答（今後、財源確保や適地選定に係る調査検討などを進めていきます。）
- 2009年（平成21年） 6月18日 第 1 回元石川小学校第二方面校開校準備委員会開催（委員長：関戸輝夫氏）
- 2009年（平成21年） 7月16日 第 2 回準備委員会開催（通学区域〈案〉、学校名の選定方法等を検討）
- 2009年（平成21年） 9月15日 第 3 回準備委員会開催（学区域ならびに元石川小学校第二方面校の名称を「美しが丘西小学校」とすることを全会一致で決定）
- 2009年（平成21年）10月 5日 関戸委員長が「第二方面校の通学区域及び学校名に関する意見書」を田村教育長（当時）に提出

○2009年（平成21年）11月19日	第4回準備委員会開催（中学校の通学区域、通学安全の要望箇所等を決定）
○2010年（平成22年）2月10日	第5回準備委員会開催（新設校の施設に関する要望について決定）
○2010年（平成22年）1月	設計開始
○2010年（平成22年）2月19日	関戸委員長が「元石川小学校第二方面校の新設に伴う通学安全に関する要望書」を細谷青葉区長（当時）に提出
○2010年（平成22年）7月7日	地域の皆様への「元石川小学校第二方面校新築工事に伴う説明会」を開催
○2011年（平成23年）10月1日	地域の皆様への「美しが丘西小学校新築工事説明会」を開催
○2011年（平成23年）10月5日	工事開始
○2012年（平成24年）5月30日	親校の元石川小ならびに関連校のすすき野小の保護者・美しが丘西保木自治会の役員を中心とした美しが丘西小学校開校準備委員会（会長：関戸輝夫氏）が発足（月一回程度、記念式典・祝賀会、PTA 設立、校歌校章制定、スクールゾーン等についての具体的な検討会議を開催）
○2012年（平成24年）8月30日	地域の皆様への「美しが丘西小学校校庭整備工事説明会」を開催
○2012年（平成24年）12月1,8日	すすき野小、元石川小にて学校説明会開催
○2012年（平成24年）12月21日	美しが丘西小学校校舎工事完成・引渡し
○2013年（平成25年）3月26日	美しが丘西小学校校庭整備工事（外構工事）完成
○2013年（平成25年）4月1日	美しが丘西小学校開校式典挙行
○2013年（平成25年）4月6日	開校記念祝賀会開催

## IV 校名・校章・シンボルツリー

### 1 校名

開校準備委員会が通学区域の保護者、住民の方々から公募し、「美しが丘西」「保木」「薬師台」など、308件の応募が寄せられました。「学校所在地の町名である『美しが丘西』が地域の未来を担う子どもたちの学舎としての名称にふさわしい」と、委員の方々の思いが一つになり、美しが丘西小学校とすることが決定しました。

なお、学校の所在地は古くは「保木」と呼ばれた、豊かな自然と文化に恵まれた由緒ある土地です。その歴史を胸に刻み、永く地域に愛され、地域とともに歩む学校にしていく決意を「美しが丘西小学校」の校名に託したいと思います。

### 2 校章

開校準備委員会の公募によって90を超える作品が集まり、すべての作品を美しが丘西郵便局、美しが丘西地区センターに展示しました。地区センターで投票を行い、その結果を参考に、開校準備委員会で、美しが丘西小学校の保護者である杉元浩之氏の作品を校章デザインとして採用させていただくことに決定しました。

青葉区の花である梨の花をモチーフに、左右対称のシンプルで安定感のあるかわいらしいデザインは、美しが丘西小の子どもたちの心のよりどころとなるにふさわしい校章だと考えています。

### 3 シンボルツリー

開校準備委員会が学校のシンボルとなる木の植栽を当時の教育長に要望しました。それは、メタセコイアであり、落葉した後も形が美しく、季節を感じることのできる木です。

正門前に植えられたメタセコイアには、美しが丘西小の子どもたち一人一人が、より強く、たくましく成長して行ってほしいという意味が込められています。